

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 芦屋はまゆう

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 08 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	利用者の重度化に合わせ、医療機関や家族との連携を図り、利用者や家族の終末期の介護について、方針を再度確認し、関係者で常に話し合い、利用者や家族が安心出来る体制を確立していく。	終末期の介護が、グループホームで出来ること、出来ない場合の環境や条件等を良く説明し、利用者、家族に理解してもらい、24時間医療連携が取れる提携医と協力していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年1回避難訓練を実施して、非常時に備えているが、避難訓練の回数を出来るだけ増やし、職員間のチーム体制の強化と、地域防災協定の締結に伴い、地域住民との、協力体制を確立していく。	消防署の協力と参加を得て、防災訓練を実施し、夜間想定避難訓練を、地域住民の協力を得て、定期的実施していく。非常災害時に食べられる食料や飲料水、利用者の医療、薬の情報の記録や、非常用持ち出し袋を準備していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。